新たな学習環境で

同窓会長　村上　進

平成の時代から「令和」と変わり、あの東日本大震災から九年を迎えます。

本年度は、移転新築した新校舎での生活も落ち着きを取り戻したいと思います。

改めまして校舎復旧に関し、同窓会関東支部や仙台支部、三陸支部をはじめ、各諸団体の皆様から、心温まるご支援を賜り、衷心より感謝申し上げる次第です。

新たな気仙沼向洋高校として、希望に満ちた明るい将来に向けて、新たに歴史を刻み始めています。

また大津波を受けて、被災した波路上の旧校舎は、気仙沼市の震災遺構・伝承館（会館以来二月末で八万人の入館者を大きく超える見通し）として、津波被害の伝承や防災教育の場として生まれ変わり、岩井崎プロムナードの災害復旧事業と一体的に合築整備され、後世に伝える生きた防災学習の場として、その存在価値に期待するところです。近年頻繁に発生している、大雨洪水や土砂災害、台風など大規模自然災害に対しても、この施設がその対応策の一助となることを願っています。

さらに生徒諸君も、階上地区の一員として防災活動に参画しながら、新たな学習環境のなかでも「地域から信頼される向洋高生」として、真摯に進路指導に向き合っている姿を垣間見るとき、必ずや震災復興の担い手となるものと確信するところであります。

気仙沼市の東日本大震災からの復興十か年計画も、残すところ一年間となりました。震災前以上に街や暮らしを取り戻すためにも、この復興総仕上げ最終年は重要な時期であります。

しっかりと取り組んでいかなければなりません。

また、昨年は復興のリーディングプロジェクト事業で五十年来の悲願だった大島大橋の供用開始や、気仙沼内湾地区での賑わいを取り戻すための「まち、ひと、しごとプラザ」等の関連施設の竣工、新気仙沼魚市場の開場など、復興の形が具体的に見え始めてきています。また三陸沿岸自動車道路の延伸など、外国人のインバウンドや全国各地からの観光交流人口の増加などの期待感が高まってきました。

さて学び舎を巣立った同窓は、百二十年の建学の歴史が経過し、約一万余を超えて、各界各層での活躍が報じられており、今後とも益々のご活躍を祈念する次第です。

一方では、人口の減少や少子高齢社会、地方創生などの課題解決は待ったなしの対応です。

この時こそ、地域に愛され信頼される向洋高校、向洋高校同窓会であるべきと強く思います。

結びに、同窓皆様方のご健勝でのご活躍と、同窓会事業へのご支援、ご協力をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

第32回同窓会親睦ソフトボール大会

令和元年9月29日(日)

スカッとした秋晴れのもと、新校舎野球グラウンドにて、同窓生21名、野球部、卓球部の約50名と参加者の諸先輩方からのタクサンのご祝儀や参加賞に胸躍らせながら、楽しい一日を過ごしました。 もちろん優勝は同窓会OBチーム！！

「来年もみんなで集まろう！！！」と気勢を大いにあげて解散しました。 オモシロかった～

学校便り

情報海洋科海洋類型

地域と連携した人材育成

情報海洋科海洋類型　後藤和政

今年も漁業ガイダンス、航海実習、漁船・取締船見学、鮭孵化場見学、海洋教育推進等については、多くの関係機関の皆様のご協力をいただき教育活動を実施することができました。学校ＨＰを通じて活動を紹介しておりますのでご覧ください。今年度は10名が船員（自家業含む）としての進路を決定しました。今後も地域の発展に貢献できる人材育成に努めてまいります。

ダイビング実習

小学生シーラス体験乗船

【就職先】《本科》（管内）みらい造船／㈱気仙沼商会
（県内船舶）東北海運産業㈱／㈱カネシメイチ
（県外船舶）英雄海運㈱／鹿児島船舶㈱／冨士運輸㈱／昭和日タンマリタイム㈱／川近シップマネージメント㈱

【進学先】　本校専攻科（漁業科）（3名）

専攻科漁業科　近郵船舶管理㈱／山友汽船㈱　泉汽船㈱

情報海洋科情報電子類型

新校舎に移転して

情報海洋科情報電子類型　髙橋春義

牧通りの新校舎に移転して１年が過ぎました。施設設備としては他県に類を見ない程に充実したものとなりました。この新しい環境をフルに活用して、社会に貢献できる卒業生を一人でも多く輩出するために日々の教育活動に邁進して参ります。先輩方よりの有形、無形のご支援、お力添えをいただいて今日に至っていること、感謝申し上げます。

海上保安庁（まつしま）見学

出前授業（専攻科生準備中）

【就職先】《本科》　（管内）㈱マルタク／㈱八葉水産（2名）／Mioテクノロジー㈱／白石電気工業㈱／㈲ひまわり　（県内）㈱一大通信　（仙台）コスモシステム㈱／㈱ユウアイ通建　（県外）㈱ネクスコ東日本エンジニアリング／㈱協和エクシオ／㈱エクシオモバイル／日本無線㈱／アンリツインフィビス㈱／㈱NTT-ME／Hotel＆Resorts MINAMIBOSO（旧南房総富浦ロイヤルホテル）（2名）　（公務員）宮城県職員（水産）／千葉県職員（無線従事者）

【進学先】　仙台リゾート＆スポーツ専門学校／東北電子専門学校／国際医療福祉専門学校一関校／気仙沼高等技術専門校／本校専攻科（無線科）（2名）

専攻科無線科　宇宙技術開発㈱／㈱エクシオテック　㈱システムステーション

産業経済科

変わらぬ伝統

産業経済科　伊比卓夫

平成６年度の学科改編時に制定された制服が、今年度の３年生を持って終わりとなる。長年見続けていたものが変わっていくのは些か寂しい思いがする。そのような中でも「変わらないもの」がある。今年度、新工場で初めて伝統の「さんま味付け缶詰」を製造した。３年生の課題研究で開発した「うおかす燻」は第44回宮城県水産加工品研究団体連合会長賞を受賞した。酒かすミルクスイーツも５年目を迎えた。改めて地域に支えられている喜びを感じる。

さんま缶詰製造実習

販売実習（道の駅おおや海岸）

【就職先】　（管内）㈱ホテル一景閣／㈱モリヤ／㈱足利本店／㈱ミヤカン／㈱リトルピピ／㈱ヤヨイサンフーズ気仙沼松川工場／㈱八葉水産／小宮山印刷工場㈱宮城工場／東京理化器械㈱宮城工場　（県内）シテイコンピュータ㈱東北事業所／新みやぎ農業協同組合／㈱モトキdocomo事業部／和sian Café aimaki／東北フジパン仙台工場　（仙台）㈱アオバヤ／㈱緑水邸　篝火の湯緑水邸／勝山企業㈱仙台勝山館／ネッツトヨタ仙台㈱／宮城ダイハツ販売㈱　（県外）山崎製パン㈱／㈱ツルハ（ツルハドラッグ）／㈱川島屋／㈱オギノパン

【進学先】　聖和学園短期大学／仙台青葉学院短期大学（2名）／修紅短期大学／東日本医療専門学校（2名）／宮城調理製菓専門学校／気仙沼リアス調理専門学校／仙台大原簿記情報公務員専門学校／東京IT会計専門学校仙台校（2名）／仙台総合ビジネス公務員専門学校／仙台こども専門学校／気仙沼市医師会附属准看護学校／気仙沼高等技術専門校（2名）

機械技術科

気仙沼地域の人財育成

機械技術科　武田修司

同窓会の皆様には、各所で多くの技術指導をいただき誠に感謝申し上げます。機械技術科で取り組む「みやぎクラフトマン事業（長期インターンシップ、資格取得支援、競技大会技術指導等）」では、多くの生徒が諸先輩方から教えていただいたことを経験値に、地元に根差す素晴らしい人財に育っています。今年度「宮城県高等学校溶接技術競技会」での団体優勝並びにインターンシップ発表会の大成功は、まさに地域の支えから得られたものだと確信しております。今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。

インターンシップ発表会

溶接技術競技会団体優勝

【就職先】　（管内）㈱おやま製作所気仙沼工場／北斗㈱／㈱クマケー建設／石川電装㈱／アサヤ㈱／Mioテクノロジー㈱／東京理化器械㈱宮城工場／雪ヶ谷精密工業㈱　（県内）三光化成㈱
（仙台）トヨタカローラ宮城㈱／第一貨物㈱／日産部品宮城㈱
（県外）㈱小森コーポレーション／日産自動車㈱／㈱日野ヒューテック／日通商事㈱ロジスティクス・サポート事業部／リック㈱／㈱バイナス／㈱ホンダエンジニアリング

【進学先】　石巻専修大学／八戸学院大学／東北電子専門学校（2名）／仙台リゾート＆スポーツ専門学校／東京法律専門学校仙台校／仙台大原簿記情報公務員専門学校／東北ヘアモード学院専門学校／東北職業能力開発大学校（2名）／気仙沼高等技術専門校／仙台高等技術専門校／気仙沼市医師会附属准看護学校

編集後記

同窓会会報「睦水第20号」の発刊にあたり、荒木校長先生をはじめ、各科の先生方、また、学校内外の同窓生諸兄にご協力をいただきまして完成の運びとなりました。大変ありがとうございました。

今年は各同窓会総会準備に奔走する先輩方、力強く描ききった絵画を贈呈いただいた先輩、級友のこころを大切に生きる先輩、改めて諸先輩方の母校への深い思いに触れた一年となりました。同窓会の意義は強くなるばかりです。

同窓会の記録としての「睦水」は次回も発刊いたします。同窓生の皆さんのお力添えをお願い致します。

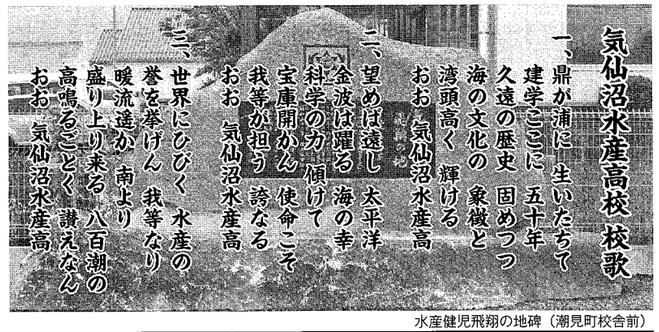
同窓会会報「睦水」編集委員会

気仙沼水産高校 校歌

一、鼎が浦に　生いたちて
建学ここに　五十年
久遠の歴史　固めつつ
海の文化の　象徴と
湾頭高く　輝ける
おお　気仙沼水産高

二、望めば遠し　太平洋
金波は躍る　海の幸
科学の力　傾けて
宝庫開かん　使命こそ
我等が担う　誇なる
おお　気仙沼水産高

三、世界にひびく　水産の
誉を挙げん　我等なり
暖流遥か　南より
盛り上り来る　八百潮の
高鳴るごとく　讃えなん
おお　気仙沼水産高


水産健児飛翔の地碑（潮見町校舎前）

ご挨拶

校長　荒木　順

同窓生の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に格別のご支援とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

平成三十一年四月に着任いたしまして、同窓生の皆様にはご指導とご鞭撻を頂き、心より御礼申し上げます。私は、幼少期を気仙沼水産高校の潮見町校舎のすぐそばで過ごした経験がありまして、本校で勤務できますことを大きな喜びと感じております。

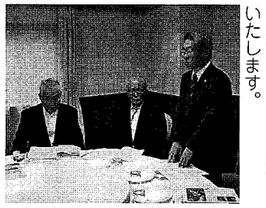
さて、東日本大震災から九年が経過しようとしております。同窓生の皆様の絶大なるご支援を賜りまして、平成三十年八月二十四日より、新校舎での学校生活が開始されました。お陰様で令和元年度は、新環境で年度始めから教育活動を行うことができました。四月の入学式や六月の体育祭を、外部施設ではなく、初めて自校の体育館で実施できた喜びは、本当に大きなもので、生徒・職員一同、改めて感謝の気持ちで一杯になりました。さらに、令和元年十月三日には同窓生の金野英文様（昭和三十七年卒業）より、ご自身が制作された大作の絵画作を本校に頂き、新校舎の装いが、さらに素晴らしいものとなりました。誠にありがとうございました。

今年度はまさに、本校が震災後、次なるステージに進む大きな転換期といえます。多方面から頂いたご支援に対して感謝の気持ちで応えていくためにも教育活動を充実させていく努力をして参ります。そこで、地域連携についても発展させたいと考えております。新たな取り組みとしては、情報海洋科・海洋類型で、小型実習船シーラスの小学生乗船を企画・実施して好評でした。また、防災教育については、階上地区との連携を一層強化するとともに、県内外との交流も充実さて、学びを深める取り組みを継続していきます。

一方、部活動では、ヨット部が男子コンバインドで東北大会出場、相撲部は東北大会に出場、新人戦の個人戦では東北大会と全国大会出場。ラグビー部は合同チーム大会の東北大会に宮城県チームのメンバーとして出場し一位。野球部は甲子園県予選でベスト16、ハイテク部は技能五輪宮城県大会の旋盤、フライス盤の部で優秀賞、溶接の県大会で総合優勝。軽音楽部は宮城県高等学校対抗バンド合戦で奨励賞を受けるなど、生徒はよく健闘しております。

本校の近況について簡単に報告させて頂きましたが、私たち職員と生徒は、校訓である「尚志、創造、力行」の向洋三心をこれからも引き継いでワンチームとなり、学校づくりに邁進したいと考えております。なお、同窓生の皆様には、機会がございましたら、ぜひ本校にお立ち寄り頂きたいと願います。学校の様子をご覧頂き、生徒にお声掛けくだされば幸いと存じます。今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、同窓会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、挨拶といたします。



仙台同窓会で荒木校長先生のご挨拶

令和元年度 同窓会一般会計収支予算(案)

収入の部　単位:円

科目	前年度予算額	本年度予算額	増減	備考
繰越金	1,015,993	1,152,639	136,646	
在校生会費	424,800	424,800	0	1,200円×354名
総会会費	240,000	240,000	0	4,000円×60名
ソフトボール参加料	30,000	30,000	0	1,000円×30名
同窓会入会金	117,000	115,000	△ 2,000	1,000円×115名
雑収入	50,000	50,000	0	
合計	1,877,793	2,012,439	134,646	

支出の部　単位:円

科目	前年度予算額	本年度予算額	増減	備考
会議費	50,000	50,000	0	役員会議
事業費	250,000	400,000	150,000	総会・ソフトボール大会卒業記念品・会報
旅費	300,000	250,000	△ 50,000	関東総会・仙台総会さんりく総会
負担金	5,000	5,000	0	県産業教育振興会費
慶弔費	150,000	100,000	△ 50,000	御祝儀等
広告費	60,000	40,000	△ 20,000	総会・ソフトボール案内（三陸新報広告代）
通信費	60,000	40,000	△ 20,000	はがき・切手・宅急便等
事務費	300,000	100,000	△ 200,000	書席・事務用品等
特別会計へ繰出金	0	500,000	500,000	
予備費	702,793	527,439	△ 175,354	
合計	1,877,793	2,012,439	134,646	

令和元年度 同窓会特別会計収支予算(案)

収入の部　単位:円

科目	前年度予算額	本年度予算額	増減	備考
繰越金	832,223	832,231	8	
一般会計より繰入金	0	500,000	500,000	
利息	0	9	9	
合計	832,223	1,332,240	500,017	

支出の部

科目	前年度予算額	本年度予算額	増減	備考
事業費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
合計	0	0	0	

平成30年度 同窓会特別会計収支決算書

収入の部　単位:円

科目	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	832,223	832,223	0	
利息	0	8	8	
合計	832,223	832,231	8	

支出の部

科目	予算額	決算額	増減	備考
事業費	0	0	0	
予備費	832,223	0	△832,223	
合計	832,223	0	△832,223	

決算の部

収入合計額832,231円－支出合計額0円＝残高832,231円

上記の通り、平成30年度同窓会特別会計収支決算をご報告いたします。なお、残金につきましては、次年度に繰り越します。

平成31年３月31日

宮城県気仙沼向洋高等学校　同窓会事務局　佐藤隆平

平成30年度 同窓会一般会計収支決算書

収入の部　自：平成30年4月1日　至：平成31年3月31日　単位:円

科目	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	1,015,993	1,015,993	0	前年度繰越
在校生会費	424,800	424,200	△ 600	(1,200円×353名)＋(600円×1名)
総会会費	240,000	204,000	△ 36,000	4,000円×51名
ソフトボール参加料	30,000	205,000	△ 10,000	1,000円×20名
同窓会入会金	117,000	117,000	0	1,000円×117名
雑収入	50,000	125,011	75,011	総会御祝儀・ソフトボール御祝儀・預金利子
合計	1,877,793	1,906,204	28,411	

支出の部　単位:円

科目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	50,000	0	△ 50,000	
事業費	250,000	374,789	124,789	総会・ソフトボール卒業記念品・会報
旅費	300,000	227,904	△ 72,096	仙台支部総会 関東支部総会
負担金	5,000	5,000	0	宮城県産業教育振興協会会費
慶弔費	150,000	80,000	△ 70,000	支部総会御祝儀・香典
広告費	60,000	29,484	△ 30,516	総会案内(新聞)
通信費	60,000	36,388	△ 23,612	役員会・総会・ソフトボール大会案内葉書
事務費	300,000	0	△300,000	
予備費	702,793	0	△702,793	
合計	1,877,793	753,565	△1,124,228	

決算の部

収入合計額1,906,204円－支出合計額753,565円＝残高1,152,639円

上記の通り、平成30年度同窓会一般会計収支決算をご報告いたします。なお、残高につきましては、次年度に繰り越します。

平成31年３月31日

宮城県気仙沼向洋高等学校　同窓会事務局　佐藤隆平

平成30年度 事業報告

平成30年
- 4月 6日　入学式　気仙沼市総合体育館
- 25日　第1回役員会・学校三役歓迎会　すし屋の泰平
- 6月15日　気仙沼高校同窓会総会　気仙沼ホテル観洋
- 25日　第2回役員会　気仙沼向洋高校（九条校舎）
- 29日　仙台同窓会総会　ホテル法華クラブ
- 7月14日　関東同窓会総会　ホテル ルポール麹町
- 21日　気仙沼向洋高校同窓会総会　気仙沼ホテル観洋
- 9月21日　第3回役員会　気仙沼向洋高校（階上新校舎）
- 10月 2日　宮城丸出港式　気仙沼商港
- 13日　ソフトボール大会　気仙沼向洋高校（階上新校舎）
- 11月22日　新校舎開校記念式典・祝賀会　気仙沼向洋高校（階上新校舎）
- 12月 8日　第4回役員会兼忘年会　プラザホテル

平成31年
- 1月25日　第5回役員会兼「睦水」第19号発刊打合せ　気仙沼向洋高校
- 2月16日　さんりく同窓会総会　時知らず
- 3月 1日　卒業式(同窓会入会式)　気仙沼向洋高校「睦水」第19号発刊

令和元年度 事業計画(案)

平成31年
- 4月 8日　入学式　気仙沼向洋高校
- 19日　学校三役歓迎会　すし屋の泰平

令和元年
- 6月14日　気仙沼高校　気仙沼ホテル観洋
- 17日　第1回役員会　気仙沼向洋高校
- 28日　仙台同窓会総会　ホテル法華クラブ
- 7月 8日　第2回役員会　気仙沼向洋高校
- 13日　関東同窓会総会　ホテル ルポール麹町
- 19日　気仙沼向洋高校同窓会総会　気仙沼ホテル観洋
- 8月 日　さんりく同窓会総会　未定(大船渡市内)
- 9月 6日　第3回役員会　気仙沼向洋高校
- 29日　ソフトボール大会　気仙沼向洋高校
- 10月 2日　宮城丸出港式　気仙沼商港
- 12月 6日　第4回役員会兼忘年会　プラザホテル

令和2年
- 1月20日　第5回役員会兼「睦水」第20号発刊打合せ　気仙沼向洋高校
- 3月 1日　卒業式(同窓会入会式)　気仙沼向洋高校「睦水」第20号発刊

令和元年度 同窓会名簿販売金収支予算(案)

収入の部　単位:円

科目	本年度予算額	増減	備考
売上金	50,000	50,000	5,000×10冊
利息	0	0	
合計	50,000	50,000	

支出の部

科目	本年度予算額	増減	備考
事業費	0	0	
予備費	0	0	
合計	0	0	

平成30年度 同窓会名簿作成運用資金収支決算書

収入の部　単位:円

科目	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	100,000	100,000	0	
利息	0	0	0	
合計	100,000	100,000	0	

支出の部

科目	予算額	決算額	増減	備考
事業費	100,000	100,000	0	名簿作成運用に伴う作業代、事務費
予備費	0	0	0	
合計	100,000	100,000	0	

決算の部

収入合計額100,000円－支出合計額100,000円＝残高0円

上記の通り、名簿作成運用資金収支決算をご報告いたします。なお、販売した名簿につきましては、新通帳を作成し、次年度より報告いたします。

平成31年３月31日

宮城県気仙沼向洋高等学校　同窓会事務局　佐藤隆平

気仙沼向洋高等学校同窓会　会計監査報告書

気仙沼向洋高等学校同窓会　会長　村上　進　殿

平成30年度気仙沼向洋高等学校同窓会一般会計及び特別会計の諸帳簿、貯金通帳を精査したところ、適正、かつ、正確に処理されていることを認めましたのでここにご報告申し上げます。

令和元年７月８日

気仙沼向洋高等学校同窓会

監事　川村秀俊・熊谷里華・菅原幹太

同窓会便り

荒木順校長先生によるご挨拶

関東同窓会　総会・合同懇親会
令和元年7月13日(土)　ホテルルポール麹町

司会青柳サチ子による議事運営

畠山昭伍会長による開会の挨拶

仙台同窓会　総会・懇親会
令和元年6月28日(金)　ホテル法華クラブ仙台

熊谷直達幹事長による活動・会計報告

令和元年度 同窓会総会

7月19日(金)気仙沼ホテル観洋にて総会及び懇親会が同窓生50名が集まり行われました。今回の担当は相撲部ＯＢ会でした。お世話いただいた相撲部の先輩方の熱い応援のもと楽しいアトラクションや踊りで、校長先生をはじめとした来賓の皆様をあたたかくおもてなしいただきました。その場で次回担当は、ヨット部へと引き継がれました。

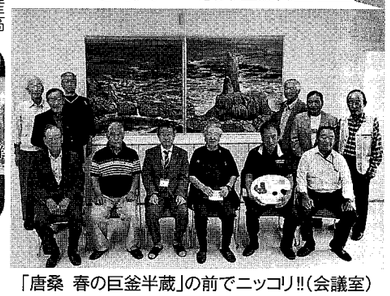
同級生と共に母校へ絵画贈呈

久しぶり集まった同級生との歓談の様子(校長室)

気仙沼水産高校漁業科第十三回生（昭和三十七年三月卒）金野英文先輩（東京都調布市在住）より絵画二点を十月三日（木）学校へ寄贈されました。波路上校舎時代にも寄贈いただき、玄関ホールに展示していたが、震災で被災したために新校舎の落成に合わせた形で製作されました。船員生活や会社員としての働きながら、趣味の絵画を描き続け、今回は唐桑半島の荒々しい海岸の風景をC60号（縦横1・4メートル）のパネル2枚に分割して描いた「唐桑　春の巨釜半造」と平成六年に彫刻の森美術館賞を受賞した洋画「城門鉄扉」の2点を寄贈いただきました。

当日は、菅野栄喜先生をはじめ、地元の同級生が十名集まり贈呈と共に旧交を温めました。荒木校長は「卒業から長い年月を経ても学校のことを思っていただき大変ありがたい。学校の宝として大切に残してゆきたい。」と話しました。

金野英文先輩（絵画を東京の自宅から自家用車で運んでいただいた）



「唐桑　春の巨釜半蔵」の前でニッコリ!!(会議室)

岩井崎に建つ級友

副会長　小野寺　次　徳

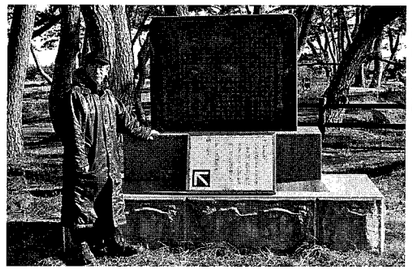
岩井崎公園の一角、紺碧の海を瀬にして御影石の碑が建っている。碑文の中にこういう一説がある。「君は明朗剛健で責任感が強く、水産人として大いに将来を期待されていたが、惜しくも波浪の間に十六歳の障害を終えたのである。この行為は人々に深い感銘を与えたので君をたたえるこころを長く世に伝えるためにこの碑を建てるものである。」

この君とは、私たちの同級生、小野寺清雄くんのことである。昭和三十七年十一月二十九日座礁した八戸市のイカ釣り船第三金保丸を救助に向かったものの激浪のため海中に転落し行方不明となり、翌日遺体となって発見された。波にまかれ、スクリューに巻き込まれての痛ましい状態だったという。彼の親父と兄は、南洋に出漁中で十二月中には東京に入港の予定だった……。

学費の一部の一部にと、アルバイトをしていての事故だった。真っ暗な海に向かって「キヨオ！キヨオ！」と声を限りに叫ぶ母親の姿に涙したのであった。その朝のホームルームは沈みきった雰囲気の中で担任の先生から事故の模様を知らされ、信じたくない、夢であってほしいと皆で声を上げて泣いた。

当時の中村校長は「人間は生きていくためには助け合う精神が必要だ。特に海に生きる人達には最も大切なことである。清雄君はこれを身をもって示してくれた。水産健児の誉れとしてその好意を長く世に伝えることができることは感謝に堪えないこの碑は今後水高生のよき教訓となるだろう」と語られた。

時は流れ、校名も変わり、卒業後に乗船する生徒も少なくはなったが、彼の遺した義拳、精神（こころ）はずっと受け継がれていくことだろう。彼が亡くなって五十有余年を迎える。御影石の碑も風雨にさらされ文字が不鮮明になりつつある。清雄君の行動と精神を忘れないためにもう一度見直したい。



小野寺清雄君をたたえる碑（岩井崎）